

N2文法

ちゅう しん
～を中心に（して）

ちゅう しん
～を中心として

N2文法

～を中心ちゅう しんに（して） ・ ～を中心ちゅう しんとして

意思

表示「以～為中心、以～為主」的意思，可同時用於具體及抽象的事物之上。

接續

【名詞】 + ～を中心ちゅう しんに（して） ・ ～を中心ちゅう しんとして

【備註】

- 「～を～にして」跟「～を～として」的分別：
「～を～にして」：有「把～作為～」、較主動的語感。
「～を～として」：有「本身～作為～」、較被動的語感。

以上僅供參考，實際上兩者使用時沒有太大分別。

N2文法

～を中心ちゅう しんに（して） ・ を中心ちゅう しんとして

例句

- 野菜や さいを中心ちゅうしんにして新しいメニューあたらしを開発かい はつしようと思おもいます。

（我打算以蔬菜為主，開發一個新餐單。）

- 日本に ほんを中心ちゅうしんに、世界各国せ かい かつ こくの代表だいひょうが核問題かく もん だいについて議論ぎ ろんを始はじめた。

（以日本為中心，世界各國代表就核問題展開討論。）

- 彼かれはオンラインビジネスを中心ちゅうしんとして着々ちゃく ちゃくと作業さぎょうを進すすめている。

（他以網上業務為中心，正一步一步地進行工作。）

- 実家じつ かは大阪おお さかなので、大阪おお さかを中心ちゅうしんにして就職活動しゅうしょく かつ どうをするつもりだ。

（因為我的老家在大阪，所以我打算以大阪為中心去找工作。）

- 若者わか ものを中心ちゅうしんに作戦さく せんを練ねって実行じっ こうしたんだけど、うまく行いかなかった。

（曾以年輕人為主去推敲出來一套戰略並實行，但不太順利。）